

重点支援地方交付金を活用して業者支援を！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会12月定例会は、12月17日に閉会しました。日本共産党奥州市議団は、一般質問に5人全員が登壇しました。今号では、千葉敦議員の質問を紹介します。



千葉敦議員

奥州商工会議所と前沢商工会が市内事業者を対象に、11月に実施した7月から9月の景気動向調査によると、4月から6月期の同調査と比べ、若干の改善が見られるが、物価高騰や人件費上昇圧力等が景気回復の妨げになっているとの指摘もあります。

千葉敦議員は、①岩手県が今年度行った物価高騰対策賃上げ支援に、市内で申請し支給された事業者に対して上乗せ支援をすべきでは、②奥州市の今年度物価高騰対策支援について、多くの事業者から歓迎されており新年度も継続すべきでは、と質しました。

具体的財源がなければ
難しい

倉成淳市長は「①国の交付金活用した県の賃上げ支援に市が上乗せ支援等を行うことは財源的に難しく、ハローワークが実施しているキャリアアップ助成金等の制度紹介などで中小企業の賃上げ支援につなげる、②市の支援事業は、所得減少要件を撤廃し、中小企業者を幅広く支援することを狙いとしており、個人事業主の交付件数が伸びた。今後は具体的財源がなければ難しい」と述べました。

財源は新たな交付金

千葉議員は、今度国が新たに示した重点支援地方交付金を活用して賃上げ支援、物価高騰対策支援、商店街支援を早急に検討すべきと主張しました。



5日岩手で「新春の集い」と
自由に党を語りあった集い



日本共産党
前衆議院議員
高橋ちづ子

1月6日

5日は、日本共産党岩手県委員会と盛岡地区共催の新春の集い。たつそ拓也知事、昨年の補選で返り咲いた立憲の木戸口英司参院議員、今夏再選めざす横沢たかのり参院議員、そして今夏参院選では、はたやま和也さんにバトンを託す日本共産党の紙智子参院議員が参加、国会報告。紙さんは勇退を決めているけれど、まだ7月まで現職。お別れは言いません、選挙勝利へ、頑張ろう！

新春の集いのあとは、三田村あみこ盛岡市議や、藤倉志乃地区委員長と一緒に入党懇談会。「党名変えたら？」「しばらく

るのでは？」「SNSの活用とどういふ？」など様々な意見。党員を50年やっているけど、政権とつたら独裁になるなんて、そんな党なら自分が辞めているわよ」という参加者の発言に、「んだ、んだ！」

目の前の地方議員さんはいけれど、国会議員が増えたら独裁になる？ってどうしてそう思うかな？私たちが暴力革命やするために何十年も頑張っているんじゃないよね？だからもっと伝えていかなきゃね？

「絶対に高橋さん次は戻って欲しい」となん度も言ってくれた男性が、なん度も断ってきたのに今日ついに、入党を決意！

福祉灯油は減額すべきでない

奥州市議会は、12月17日の12月定例会最終日に住民税非課税世帯等への冬季特別対策助成費（福祉灯油）を含む一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

千葉敦議員は、県の助成基準7000円に1000円上乗せする理由について、質しました。

担当者は「令和4年度、県の

助成単価が当初8000円で示されたため、市も8000円で準備したが、県の単価が6000円に引き下げられた。しかし、市では、そのまま8000円にした。令和5年度は県の単価が7000円に引き上げられ、市の助成は1000円上乗せして8000円とした。奥州市は他市に比べて灯油価格が高いというところがないので、来年度以降は、県の単価に合わせて、市と

して上乗せを行わない方針である。今年度は緩和措置として、昨年度同様1000円上乗せして8000円とした」と述べました。

千葉議員は、原油価格の高止まり状態なので、来年度以降も助成額を下げるべきでないと主張しました。

